

安全衛生優良企業における安全衛生取組事例シート

企業名	アップコン株式会社
-----	-----------

安全衛生取組事例

**安全衛生に関する積極的な取組**

1. 安全衛生管理活動に全ての労働者が参画するという企業内環境が形成されている

「健康第一」「安全第一」「家庭第一」を企業(事業場)経営の基本理念として掲げつつ、企業トップ自らが安全衛生に関する基本方針と目標を示し、かかる基本方針のもとで、本社の管理組織(安全管理担当・健康管理担当)を主軸に安全衛生活動を促進しているだけでなく、頻繁に開催する事業場内の全体会議(全ての労働者が参画)による安全衛生活動・全般への意見聴取とフィードバックを通じ、策定した安全衛生管理計画の進捗状況の把握と分析を経常的に行いながら安全衛生管理計画の着実な実施を図っている。

2. 安全衛生を含めた管理のシステム(組織内ルールほか)を確立している

取得済みの ISO 9001・14001 に即し、安全衛生面のみならず、事業活動の具体的なベースとなる作業・事務全般に関する規定化・マニュアル化等の標準化を実現しており、規定・マニュアル等の評価～問題点の分析～改善案の策定～職場意見をふまえた改善策・方向の決定というしくみを確立している。

3. 健康保持・増進に向けた取組に組織的・継続的な熱意が認められる

努力義務の対象規模事業場(労働者数:37人)でありながら、ストレスチェックを既に実施、職場全体の傾向と課題の把握、分析まで行っているほか、経常的な時間外労働の縮減策を通じ、長時間・過重労働の抑制を図っている。

また、厚生労働省が主唱する「スマート・ライフ・プロジェクト」に参加し、健康保持・増進に向けた様々な取組を展開する中、「全社員禁煙宣言」のもとで禁煙を目指す労働者への支援、労働者が自主的に運営する「健活倶楽部」への支援、「階段ポイント制」など健康保持・増進に向けた活動への参加を促進するための工夫を講じ、個々の労働者への支援も熱心に取り組んでいる。

## 安全衛生取組事例

### ◆健康の為の活動

#### ① レクリエーション活動（別添①）

月に1回以上の体を動かすレクリエーション活動を企画し、体力の向上・社員の交流を目的として、心身の健康に努めています。

（例：フットサル・ランニング・ボルダリング・座禅体験）

#### ②心のケア

法定義務のない会社の規模ですが、ストレスチェックを自発的に行い、職場全体の傾向把握・分析を行っています。

#### ② 階段ポイント制度を導入（別添②）

社員の健康維持の為、出勤時、退社時、会社出入りの時など、ビル6階に入居している当社まで、エレベーターではなく階段の使用を推奨しています。

階段を往復した回数を社内の管理帳に記録すると、ポイントが得られ、レクリエーション活動に参加する際の参加費用として使用できる仕組みになっています。

#### ④全社員禁煙宣言（別添③）

就業時間内での喫煙を禁止（禁煙）しています。また、時間外で喫煙している社員に対し、時間外でも禁煙の意思が持てるよう、毎月喫煙本数のヒアリングを行う、喫煙者の家族に手紙を送り協力してもらい、などの活動をしています。完全に禁煙の習慣が持てるようになった社員に対しては、会社から金一封が贈呈されます。

また、厚生労働省の行っている「スマートライフプロジェクト」にも参加し、禁煙を含めた健康保持・増進に努めています。

### ◆安全衛生活動

#### ① 全衛生等の管理システムの確立（別添④）

安全衛生活動を管理する組織によって安全衛生管理計画を策定し、月1回の会議（社員全員参加）で聴取した従業員の意見から、状況把握・分析を経常的に行っています。

また、取得済みのIS09001・14001に即して規定化・マニュアル化を行い、安全衛生だけでなく、現場作業・営業・事務全般のPDCAサイクルの仕組みを確立しています。

#### ②ヒヤリハットの周知（別添⑤）

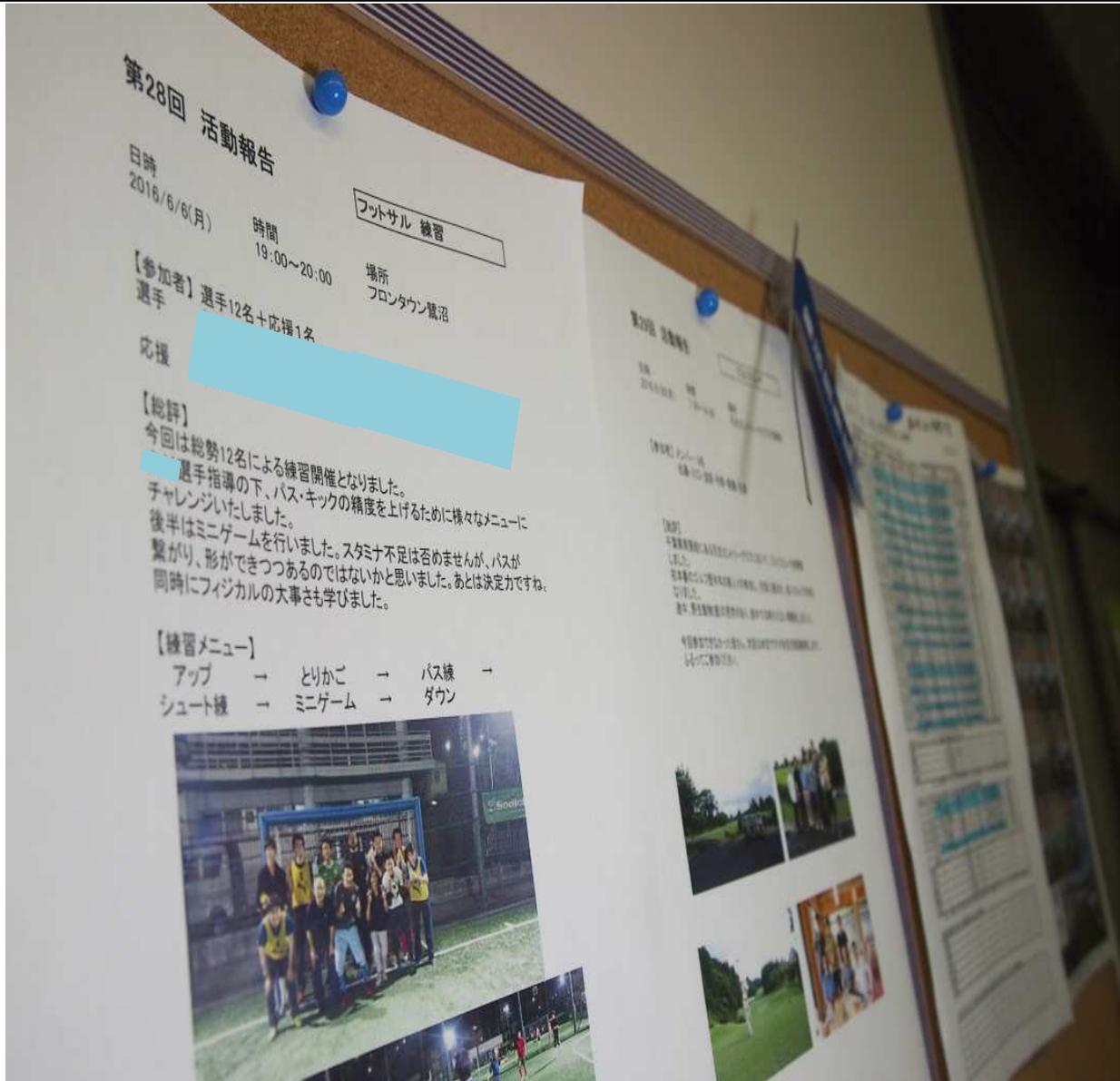
月に1回行われる会議（社員全員参加）で、施工グループや部ごとに経験したヒヤリハットの出来事を発表し、注意事項を都度全員で確認し、同じ事が2度発生しないように共有しています。

◆健康の為の活動

①レクリエーション活動

健康活動を推奨するため、レクリエーション実施後に、活動報告を社内の掲示板に掲示しています。

社内の掲示板(レクリエーション活動報告)

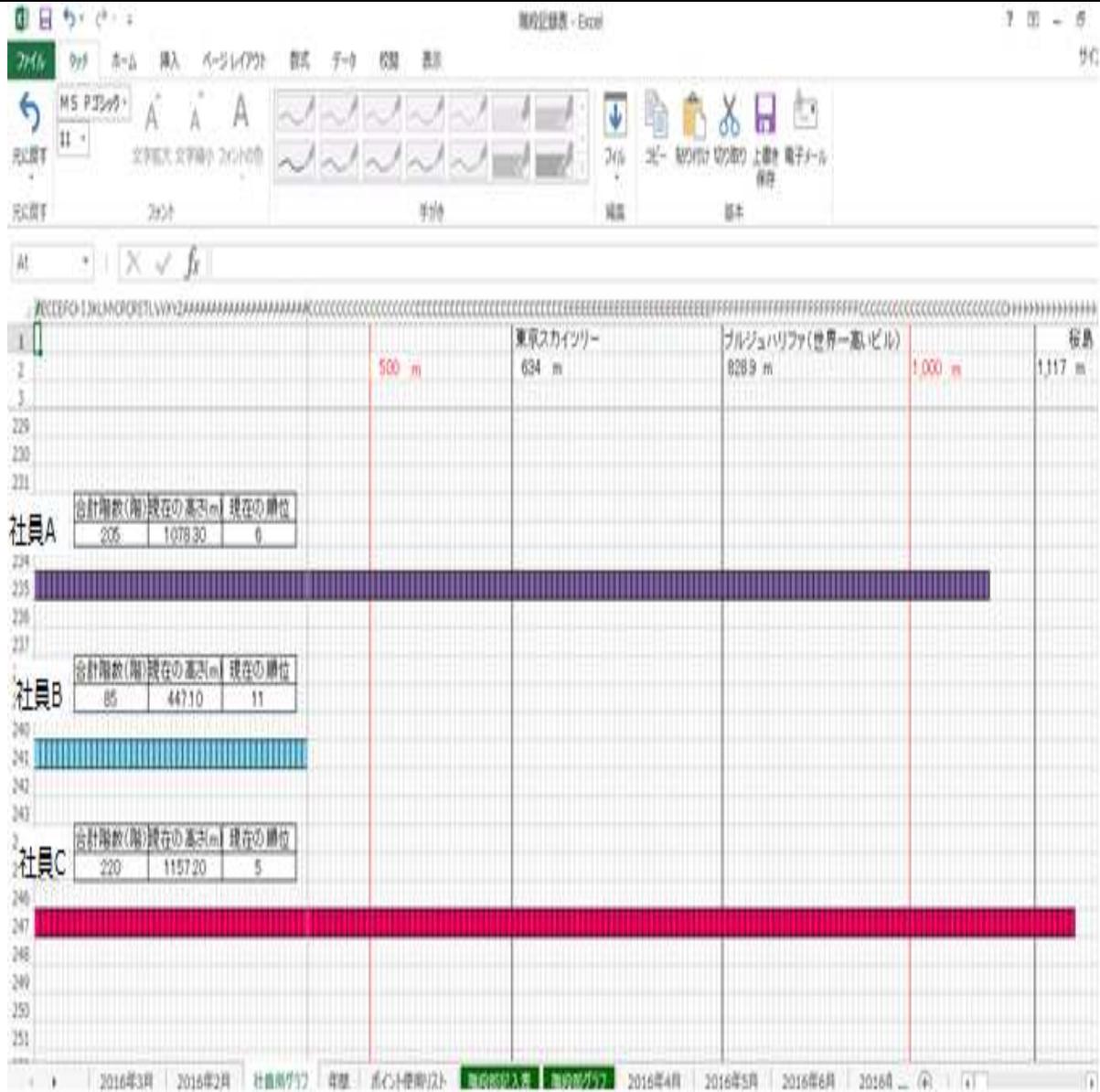


## ②階段ポイント制度

階段を往復した回数をグラフ化し、どの位の高さになっているのか、有名な建物や山に例えて表示することで、参加者が楽しく継続できるように工夫しています。

また、これを社内周知することで参加者を増やしています。

階段ポイントを記入しているソフト



### ③全社員禁煙宣言

喫煙者本人には、健康のために禁煙をする努力をさせるだけでなく、煙草に使っている金額と同額の物を比較できる表を作り、それを見せることで、禁煙意欲を高める工夫をしています。また、本人だけでなく、同じ内容の手紙を家族に送ることで家族にも禁煙の協力を求めるようにしています。

#### 喫煙者家族への手紙

健活倶楽部よりご家族の方へご案内

2016年2月吉日  
アップコン株式会社  
健活倶楽部

向春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、12月にもご案内させていただきましたが「健活倶楽部」では何歳になっても社員が健康でいられるよう【社員が“生きる”ために】活動を行っています。

既にご存じかもしれませんが、当社の基本理念は「健康第一・安全第一・家庭第一」です。

その中のひとつ「健康第一」に則り、自分や周囲の健康を守るため、喫煙に関しての会社の方針として、弊社のホームページ上で **2016年2月1日に全社員非喫煙宣言を行いました。**

先月末迄に**禁煙を成功させた人は4名**いました。こちらの4名には今年の創立記念日(6/18)に金一封を差し上げます。また、**4月迄に禁煙宣言をし、6/18までに禁煙を成功させた人へも金一封を差し上げる予定です。**

JT(日本たばこ産業)は、一部の煙草の価格改定を許可申請したと発表しました。

4月から10円~50円の値上げとなりそうです。

これから春に向けて、新しいことに取り組む良い時期かと思えます。

**是非この機会に社員の喫煙率ゼロパーセントを目指したく、ご家族のご理解とご協力を頂きたい**と思っています。皆様も含め健康的になっていきますと幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 非喫煙者になると嬉しいことが！

- ・タバコを吸うための時間を得られ、購入していたお金が他に使える※
- ・会社からの金一封がもらえる
- ・本人の健康のためになり、ご家族の受動喫煙もなくなる など

※	1ヵ月煙草代を貯金すると…	1年間煙草代を貯金すると…
2日1箱		
	毎月焼肉パーティーに参加できる！ 毎月飲み会に行ける！	国内旅行・台湾旅行に行ける！

# スマートライフプロジェクトへの参加

## スマートライフプロジェクトについて

健康寿命をのばそう! Smart Life Project

HOME スマートライフプロジェクトについて 活動報告 企業・団体メンバー

スマートライフプロジェクトとは

「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした厚生労働省の国民運動です。運動、食生活、禁煙の3分野を中心に、具体的なアクションの呼びかけを行っています。2014年から、これらのアクションの他、健診・検診の受診を新たなテーマに加え、更なる健康寿命の延伸を、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体と協力・連携しながら推進しています。

3つのアクション

- 適度な運動**  
「毎日プラス10分の運動」  
例えば、運動時はや歩き。例えば掃除や庭いじり。日常でのからの動きを増やすだけで健康生活に変わります。
- 適切な食生活**  
「毎日プラス一皿の野菜」  
いつもの食事にプラス一皿の野菜を。ちょっと意識して美味しく野菜を摂る事で、理想的な食生活に近づきます。
- 禁煙**  
「たばこの煙をなくす」  
たばこを吸うことは健康を損なうだけでなく、目の美しさや若々しさを失うことにも繋がります。

+

**健診・検診の受診**

定期的な受診で自分を知って、3つのアクションに取り組んでみましょう!

## 名刺の裏へのロゴ印刷

沈下修正を通じて、暮らしやすい社会づくりに貢献していきます。

「不良品が多い工場の原因は地盤にある。」「地盤沈下が原因で家が傾き健康被害を引き起こす。」「これらは、地盤沈下の多い日本において日常的に起きていることです。私たちは、このような工場や住宅を、環境にやさしく安全な工法によって、操業や生活を止めずに短時間で修正します。この工法を今後も広めていくと同時に、社会貢献できる新技術の研究・開発を続けていきます。」

私たちの取組みは、コーポレートサイトをご覧ください。  
[WWW.UPCON.CO.JP](http://WWW.UPCON.CO.JP)

### 事業概要 土木事業 及び 建設事業

- コンクリート床スラブ沈下修正工法「アップコン」による施工・施工管理
- ウレタン製土壌改良材「ナテルン」による施工・施工管理及び「ナテルン」の販売
- 農業用水路トンネル機能回復加圧式ウレタン充填工法「FRIT工法」による施工・施工管理
- ウレタンを使った新技術の研究・開発



## ◆安全衛生活動

### ④安全衛生等の管理システムの確立

#### 例：ISO の教育訓練規程

(当社 ISO9001 「教育・訓練規程」より抜粋)

ISO のルールに基づいて、年間で教育訓練の計画を立て、実行しています。

QB601-8

P 2/5

- (2) 管理部は、公的資格の必要な業務の力量を、「公的資格及び力量登録台帳」に明確にする。  
「公的資格及び力量登録台帳」への登録手順は、本規定 8 項による。

#### 5. 教育・訓練の計画立案

- (1) 各部門長は、年度初め（毎年 2 月）に、各部門長と協議して年度毎の教育・訓練の計画を検討し、「教育・訓練計画書」を作成し、社長の承認を得る。
- (2) 教育・訓練の計画検討時には以下の事項を考慮し、「教育・訓練体系」（付表・1）に沿った計画を作成する。
  - ・ 前年度までの教育・訓練の実施結果
  - ・ 現在の公的資格の、有資格者数の状況
  - ・ 現在の力量の登録状況
  - ・ 技術者の技能修得状況
  - ・ 今年度の方針展開計画
  - ・ 今後の会社運営における課題や経営環境の変化等

#### 6. 教育・訓練の実施、記録

- (1) 各教育・訓練の実施責任者（以下、実施責任者と呼ぶ）は、「教育・訓練計画書」に基づき、教育・訓練を実施する。
- (2) 実施責任者、又は受講者は、「教育・訓練実施報告書」に実施内容を記録する。

#### 7. 教育・訓練の有効性の評価

- (1) 実施責任者は、教育・訓練の終了後、その教育・訓練の有効性を評価し、評価結果を「教育・訓練実施報告書」記録し、社長に提出する。
- (2) 社長は、「教育・訓練実施報告書」を確認し、管理部がこれを保管する。
- (3) 実施責任者、又は受講者は教育実施後「教育訓練計画書」の実施欄に○印を記入、「教育・訓練実施報告書」を提出後○印を◎印に変更、社長が「教育・訓練実施報告書」を確認後◎印を●印に変更し完了したことを確認する。

#### 8. 公的資格の登録管理

- (1) 公的資格を取得した者は、その資格の「免許証」、「資格者証」等の資格取得を証明する書類のコピーを管理部に提出し、公的資格の取得を報告する。
- (2) 管理部は、公的資格者を「公的資格及び力量登録台帳」に登録する。

#### 9. 記録の保管

管理部は、＜記録管理規定＞に基づき以下の記録を保管する。

「教育・訓練計画書」  
「教育・訓練実施報告書」  
「公的資格及び力量登録台帳」

# ISOに基づく、計画と評価

計画通り教育・訓練を行い、報告書を会社に提出します。

## 教育・訓練計画書

(2015年度)

No. 1

作成日 2015/03/16

改訂日

P1/1

承認

部門	EMS QMS	教育・訓練名	教育方法	実施責任者	対象者	※計画は実施予定の月に○を記入。実施は◎:実施 ◎:寄託記入済み ◎:社長確認済み												備考
						2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
技術	<input type="checkbox"/> EMS	新入社員教育	OJT	吉村	〇	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	職長教育	外部講習 トーマツ	〃	久	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												
〃	<input type="checkbox"/> EMS	〃	〃	〃	〃	計画												
	<input checked="" type="checkbox"/> QMS					実施												

↑社内講師、OJT、社外研修など、方法を明記。(社外研修の場合は教育実施機関名も記入)

アップコン株式会社

5-15024/041101



## 教育・訓練実施報告書

教育・訓練名:  一般  特定  緊急事態  
 職長・安全衛生責任者教育講習  
 作成者:   
 作成年月日: 平成 27 年 5 月 22 日

社長

部門名	技術部	
教育実施年月日	平成 27 年 5 月 19 日 ~ 平成 27 年 5 月 20 日 (教育時間数: 学科 14 H 実施 H その他 H)	
講師 (教育主催者)	(株)安全衛生推進会 島村	
教育概要	<input checked="" type="checkbox"/> 社外主催 <input type="checkbox"/> 社内主催 <input type="checkbox"/> その他 該当するものを○で囲む	
参加者	<span style="background-color: #ADD8E6; display: inline-block; width: 150px; height: 1.2em;"></span>	
教育・訓練内容	職長の役割や責任について学んできました。 内容としては以下の7点になります。 ①協力会社と安全衛生責任者に求められる責任 ②作業者に対する指導・監督の方法 ③危険性または有害性の調査による低減対策の実施 ④安全衛生責任者が行う安全施工サイクル活動の進め方 ⑤作業に応じて選任や配置しなければならない人など ⑥災害防止に対する関心の保持と創意工夫を引き出す方法 ⑦異常時と災害発生時の必要な措置	
有効性の確認欄	<input type="checkbox"/> テスト実施 <input checked="" type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> ディスカッション実施 <input type="checkbox"/> 実際の作業を実施 その他	備考欄: <input checked="" type="checkbox"/> 川口 有効性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 確認日: 平成 27 年 5 月 22 日 確 <span style="background-color: #ADD8E6; display: inline-block; width: 100px; height: 1em;"></span>
	ISO 推進室への連絡欄(教育文書変更の必要性の有無など)	

アップコン株式会社  
140220

⑤ヒヤリハットの周知

全体会議議事録

議事録

作成日：平成 28 年 2 月 1 日

件名	全体会議	作成者	■
日時	平成 28 年 2 月 1 日 8:30~11:00	場所	事務所

打合せ内容

【全体連絡事項】

○ヒヤリハット

- ・A班：寒冷地での運転時に横滑りを起こしかけた。不慣れな土地での運転は慎重に。  
ガソリンスタンドで降車時に滑ることもある。注意！
- ・B班：雪道での運転時の注意点として以下の事があげられる。
  - ・アクセル、ブレーキは早めにかける。
  - ・大きい車の場合、車間距離は広めに。
  - ・車上の雪がブレーキ時に落ちてくることがある。
  - ・燃料が凍結することがあった。事前に凍結防止剤を入れていくか、福島県以北で燃料を補給するように調整する。
- ・C班：爆破時に発泡前の材料をあびた人が2人いる。  
保護ゴーグルを着用していたため2人とも大事なし。